

おこしやす大使の
特別インタビュー公開!

『京まふ 2024』特別企画を 「京都館 PLUS X」にて限定公開!

『サマーウォーズ』
劇場公開15周年記念
連携イベントを実施!

京都市では、京都の魅力発信、新たな交流拠点の創出等のため、メタバース「京都館 PLUS X」を活用した取組を行っています。

この度、13回目を迎える『京都国際マンガ・アニメフェア 2024』（京まふ 2024）の開催に合わせた特別企画として、「京都館 PLUS X」で2024年8月に劇場公開15周年を迎えたアニメーション映画『サマーウォーズ』の連携イベントを実施するほか、『京まふ 2024』おこしやす大使の声優・山根綺さんの特別インタビュー動画を限定公開します。

また、本特別企画に併せて、「京都館 PLUS X」の展示コンテンツを『京まふ 2024』に合わせた内容に変更していますので、この機会に是非アクセスしてみてください!

1 『サマーウォーズ』劇場公開15周年を記念した連携イベント

“あなたの心に残るシーン”投票企画を開催するほか、京都の観光スポットなどを、『サマーウォーズ』に登場する仮想世界 OZ のアバター「仮ケンジ」と巡る展示を実施します。

(1) 公開日時

令和6年9月2日（月）正午ごろ

※ システム上での入替作業の進捗により、時間は多少前後します。

(2) “あなたの心に残るシーン”投票企画

あなたの心に残る『サマーウォーズ』のシーンを投票していただき、投票が多かった3つのシーンを京都館 PLUS X、京まふ会場で発表します。

ア 投票期間

令和6年9月2日（月）正午～9月13日（金）正午

イ 投票ページ

<https://forms.gle/ud3j9nfA276kRmdXA>

(※京都館 PLUS X からアクセスが可能です。)



←二次元コードでの
アクセスはこちら!

ウ 結果発表場所・日時

・京都館 PLUS X 令和6年9月21日（土）午前9時以降

(※作業の進捗により時間は多少前後します。)

・京まふメイン会場（みやこめっせ地下1階京都伝統産業ミュージアム（予定））

- 2 『京まふ 2024』おこしやす大使 声優・山根綺さんの特別インタビュー動画限定公開
京都の印象や京まふに来られる方へのメッセージなど、『京まふ 2024』おこしやす大使の声優・山根綺さんの特別インタビュー動画を限定公開します。

公開日時

令和6年9月2日（月）正午ごろ

※ システム上での入替作業の進捗により、時間は多少前後します。

<参考> 『京まふ 2024』おこしやす大使 山根綺さん



プロフィール

株式会社青二プロダクション所属。神奈川県出身。
主な出演作は「るろうに剣心 ー明治剣客浪漫譚ー」
巻町操、「機動戦士ガンダム 水星の魔女」セセリ
ア・ドート、「2.5次元の誘惑」753♡、「姫様
“拷問”の時間です」クロル、「Re：ゼロから始める
異世界生活」リリアナ・マスカレードなど

- 3 「京都館PLUS X」へのアクセス方法

パソコン、スマートフォン等で以下のアドレスにアクセスしてください。

[URL]<https://parallel-site.room-at.jp/app/room/release/index.html?to=guestroom&rid=42&ver=1.0.1>

※ 令和6年9月11日午前10時～午後2時頃にメンテナンスを
予定しており、一時的に休止予定です。

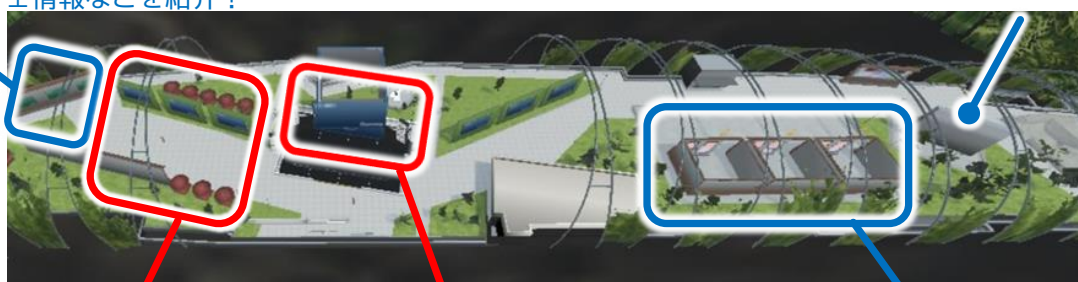


↑二次元コード
でのアクセスは
こちら！

- 4 主な展示内容（「京都館PLUS X」を上から見た図）

まだまだある！『京まふ 2024』の
コラボカフェ情報などを紹介！

スタート地点



サマーウォーズ投票企画や
仮ケンジと巡る京都の
観光スポットを展示！

ステージにて『京まふ 2024』
おこしやす大使による特別
インタビュー動画を限定公開！

『京まふ 2024』情報を
たっぷり掲載！



<参考>「京都国際マンガ・アニメフェア 2024」

開催期間：令和6年9月21日（土）・22日（日）

会場：みやこめっせ（メイン会場）、ロームシアター京都(メイン会場)、京都国際マンガミュージアム(第2会場)、京都伝統産業ミュージアム（サテライト会場）、日図デザイン博物館（ゲームマーケット京都会場）

入場券：各種プレイガイドで販売中

主催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会、京都市

共催：KYOTO CMEX 実行委員会、京都国際マンガミュージアム
京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学

公式サイト：<https://kyomaf.kyoto/>

<参考> 京都館PLUS X

京都市が令和4年3月に開設。空間上にモニターやパネルを設置し、伝統産業や京都市のイベント、観光資源等の京都の魅力を発信、体験できるだけでなく、メタバース上で人々が交流できる場づくり等を目指します。